

京都市上下水道事業 経営評価

概要版

上下水道局マスコット
キャラクター



平成 22 年度事業

上下水道事業の経営は？

経営指標評価（2ページ～）

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

検針区 100	お客さま番号 使用者コード 00016	水栓番号 90060	年度 22	期 6	戸数 1	呼び径 20 mm	メーター番号 10016
下水区分 区域内	汚水区分 水道のみ	用途 一般区	支払方法 口座振替				
京都 一郎 様							
ご使用期間 12月1日～1月31日							
今回指示数			652 m ³				
前回指示数			620 m ³				
取替前メーター使用量			m ³ (月 日)				
井戸汚水等排出量			m ³				
今回ご使用水量			32 m ³				
前年同期使用水量			40 m ³				
水道料金			3,868 円				
下水道使用料			2,969 円				
ご請求予定額			6,837 円				
今回口座請求日 3月17日			消費税及び地方消費税相当額				
次回検針予定日			天候等により変更される場合があります。				

このお知らせは、お住まいの地域に配布されています。

料金はどんな取組に使われているの？

取組項目評価（4ページ～）

上下水道局マスコット
キャラクター



ひかりちゃん

水道料金等口座振替済のお知らせ

22年度 5期分	振替日	1月17日	（前回検針分）
ご使用期間 10月1日～11月30日	水道料金	3,868 円	月別 12
水道使用水量	32 m ³	下水道使用料	2,969 円
汚水排出量	m ³	消費税及び地方消費税相当額	6,837 円
振替金額			
お問い合わせ先 東山営業所			
TEL 561-71			
検針月日 23年2月1日 検針員			
※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意			
京の水をあすへつなぐ 京都市上下水道局			
http://www.kyoto-suido.jp			

平成 23 年 9 月
～京の水をあすへつなぐ～
京都市上下水道局

みんなで取り組む！災害対策

【緊急遮断弁】

大地震による揺れを感じると、弁を自動で閉じる装置だよ。

この装置のおかげで、配水管が破損しても、水の流出を防ぐことができるんだ。



【下水道】

災害時でも安心してトイレが使用できるように、管きょ・施設の耐震化に取り組んでいるんだよ。



【家庭でできること】

みなさんのご家庭でも水道水を備蓄しましょう！

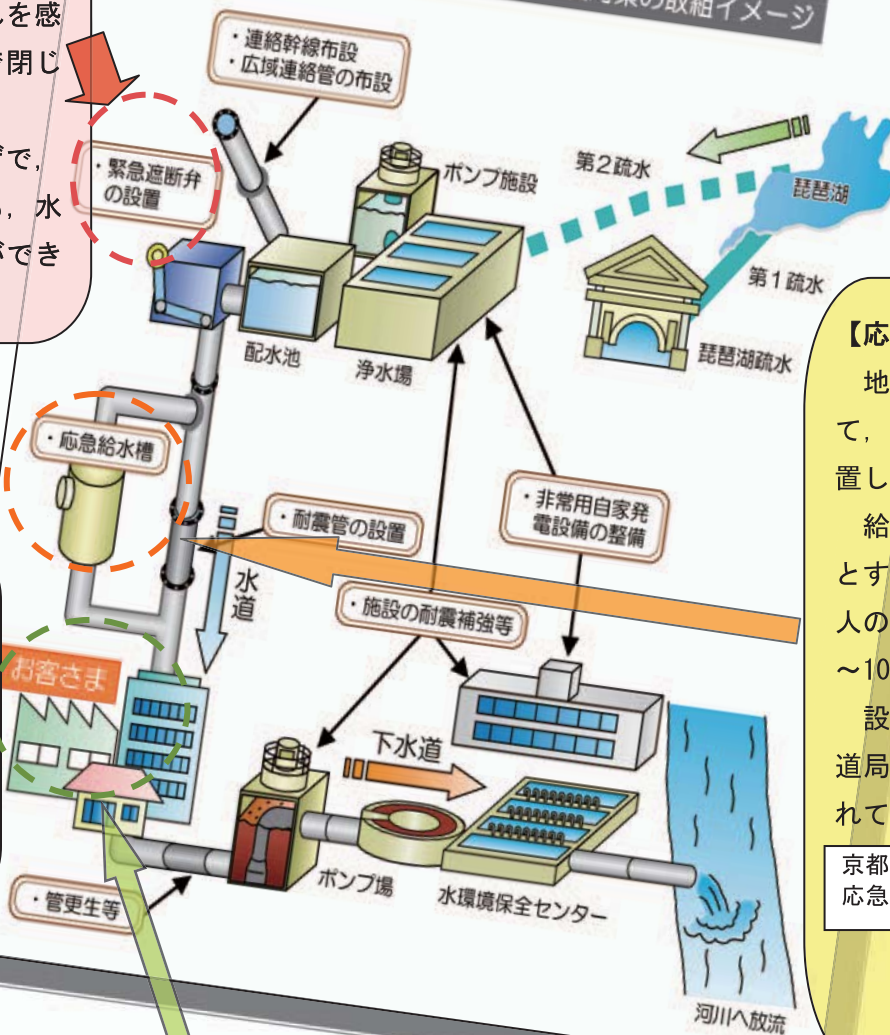
*** 1人1日3ℓ×家族の人数×3日分が確保する飲料水の目安です ***

保存方法：フタの付いたポリ容器に水道水をいっぱいまで入れ、フタを閉めて直射日光の当たらない涼しい場所で保管してください。

保存期限：およそ3日です。保存期限が過ぎましたら雑用水などに使用して、新しい水道水に取り替えてください。

9 ページに災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」が紹介されているよ！

上下水道施設のさまざまな地震対策の取組イメージ



【応急給水槽】

地震などの災害に備えて、飲料水確保のために設置しているよ。

給水槽には、1人1日3ℓとすると9,000人～11,000人の3日分の飲料水(80㎡～100㎡)が入っているの。

設置場所と地図が上下水道局ホームページに掲載されているよ。

京都市上下水道局
応急給水槽設置

検索

↑ 見てみてね！



東日本大震災の被災地への支援活動

上下水道局では、平成23年3月11日に東北地方太平洋沖で発生した地震に対して、その直後から延べ141人の職員を被災地（茨城県利根町、仙台市、岩手県陸前高田市）へ派遣し、応急給水活動や下水道管路等の被害状況調査を実施するとともに、災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」約4万3千本を仙台市へ無償提供しました。

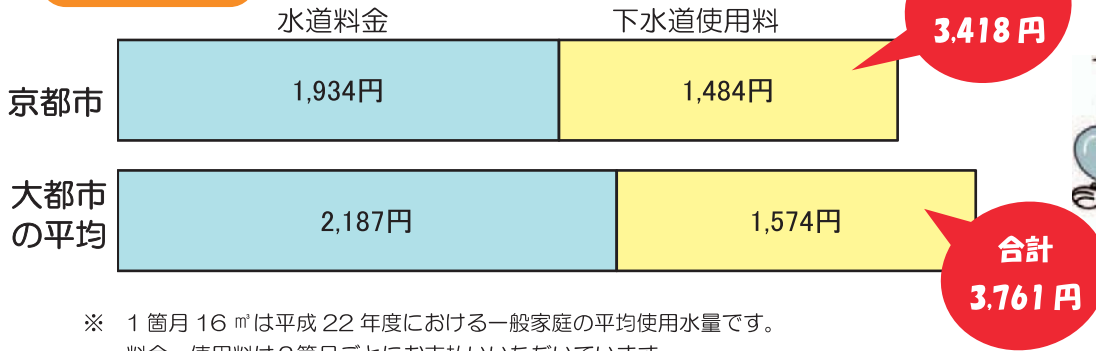


京都市の上下水道事業の経営って？

大都市の水道料金・下水道使用料比較

東京都及び政令指定都市 計 20 都市で比べました（平成 23 年 7 月現在）

1 箇月 16 m³



京都市の水道料金・
下水道使用料は、
安いのかな？



一般家庭で 1 箇月 16 m³を使用した場合、
大都市 20 都市の中で安い方から 8 番目、
平均から 343 円安くなっているのよ！！



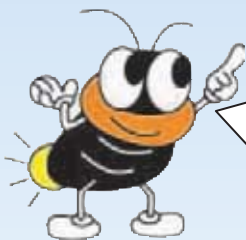
上下水道事業 経営評価 H23.9

毎年、1 年間の事業を振り返って評価を行っています。
経営指標評価と取組項目評価の 2 つの手法で評価し、今後の事業運
営などに利用しています。

経営指標評価

財務面を中心とした客観的な指標値を用いて、6 つの
区分から上下水道事業の経営状況の評価・分析を行い
ました。
2 ページへ

経営状況は
どうなっ
ているの
かな？



取組項目評価

上下水道局が進めている 5 つの施策目標の達成に向け
た取組について、進捗状況の点検・評価を行いました。
4 ページへ

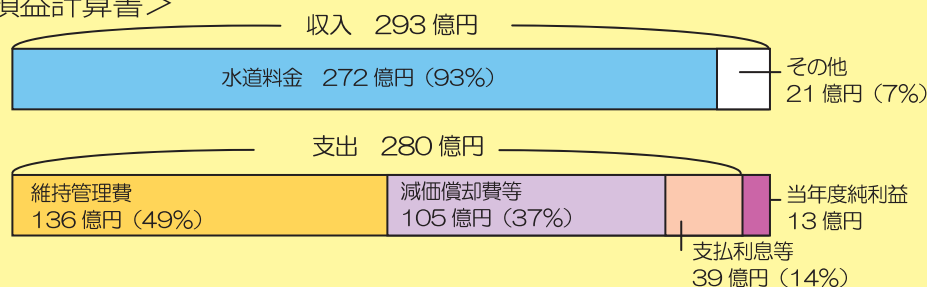
私たちが
払った料
金は、ど
んな取組
に使われ
ているの
かしら？



上下水道事業の経営状況

水道事業

<損益計算書>



上下水道事業の運営には、管路や浄水場などの施設の点検、修繕、運転管理等に必要維持管理費と、それらの施設を建設・整備するときに借りたお金の返済、利息の支払などがかかります。



水道料金収入は、前年度と比べ0.2パーセント(6600万円)増加し、支出においても各種経費の削減などの取組を着実に進めた結果、4年連続の黒字決算(12億8500万円)となりました。企業債(借金)の残高はやや増加したものの、前年度の水準をほぼ維持しました。

経営指標評価



21年度を100として改善度を示しています。

① 収益性

100.7

水道料金収入がわずかに増加するとともに、経費の削減に努めたことにより、4年連続の黒字決算となりました。

② 資産・財務

104.4

黒字決算となったことなどにより、自己資本構成比率が向上しました。

⑥ 費用

101.2



1 m³ の水道水をつくるコストは158.7円です。大都市※平均と比べると、11.6円(6.8%)低コストです。

⑤ 料金

100.0

1 m³ 当たりの水道水の平均価格は、154.2円です。大都市※平均と比べると、16.3円(9.6%)低価格です。

④ 生産性

104.8

水道メーターの点検業務の民間委託化などで職員定数を削減しました。

③ 施設の効率性

100.0

22年度は水需要がわずかに増え、稼働率はほぼ横ばいとなりました。

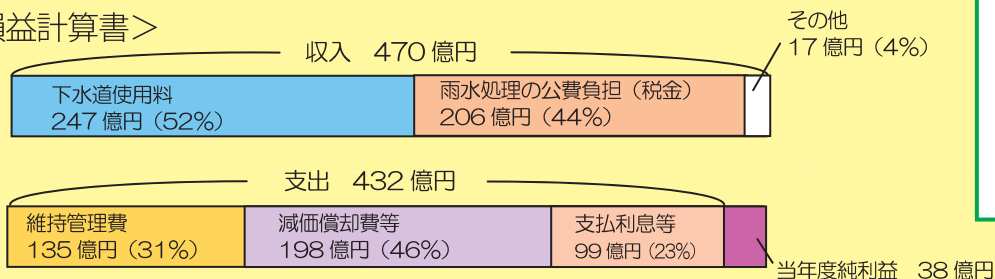
※ 大都市比較は、東京都及び平成22年度における政令指定都市(県が主に運営する千葉市、相模原市を除く。)計18都市で比較しました。

＜平成 22 年度決算における水需要の状況＞

水需要は、景気の停滞や節水型社会の進展によって、長期的に減少傾向が続いていますが、平成 22 年度は夏季の猛暑などの影響により、前年度と比べ若干ではあるものの 6 年ぶりに増加しました。

公共下水道事業

＜損益計算書＞



下水道の汚水処理に必要な経費は下水道使用料で、雨水を処理し、浸水被害からまちを守るための経費は、公費（税金）で主にまかなわれています。



下水道使用料収入が前年度と比べ 1.2 パーセント（2 億 8500 万円）増加し、支出においても各種経費の削減の取組などにより、2 年ぶりの黒字決算（38 億 300 万円）となりました。しかし、企業債（借金）の返済の資金が不足しているため、実質の資金黒字は 2 億 6200 万円となります。企業債の残高は前年度と比べ 2.5 パーセント減少しました。



21 年度を 100 として改善度を示しています。

① 収益性

109.4

下水道使用料収入が増加するとともに、経費の削減に努めたことにより、2 年ぶりの黒字決算となりました。

② 資産・財務

101.4

企業債（借金）の残高削減を進めるなど、財務体質の強化に努めました。

③ 施設の効率性

102.2

施設の整備に併せた施設規模の適正化により、向上しました。

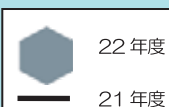
④ 生産性

103.0

業務見直しなどにより、職員定数を削減しました。

⑥ 費用

102.3



1 m³ の下水を処理するのにかかるコストは 105.3 円です。大都市※平均と比べると、33.5 円（24.1%）低コストです。

⑤ 使用料

99.9

1 m³ 当たりの下水道使用にかかる平均価格は、128.0 円です。大都市※平均と比べると、14.3 円（10.0%）低価格です。

※ 大都市比較は、東京都及び平成 22 年度における政令指定都市（地方公営企業法を適用していない相模原市を除く。）計 19 都市で比較しました。

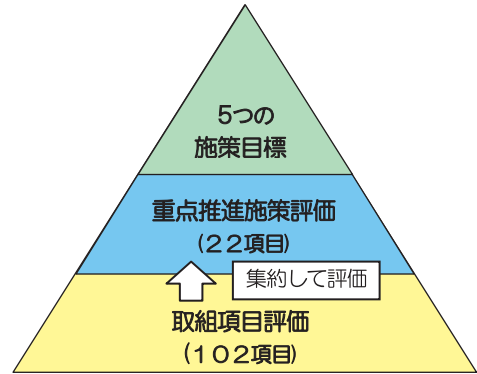
取組項目評価



取組項目評価は、年度ごとの目標に対する達成度を評価しているのよ！

上下水道局では、平成 29 年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京（みやこ）の水ビジョン（2008－2017）」とその前期 5 箇年の実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

ここでは、ビジョンで目指す 5 つの施策目標の実現に向けて 22 年度に取り組んだ 102 項目の取組結果を集約し、22 の重点推進施策を 5 段階で評価しました。



取組項目評価の体系

評価結果について

地震等の災害に強い上下水道施設の整備、経営環境の変化に対応した経営の効率化などの取組を進めたことにより、22 の重点推進施策のうち、A評価が 7 施策、B評価が 15 施策となりました。



評価方法は、



十分に達成
されている



かなり達成
されている



そこそこ達成
されている



あまり達成
されていない



達成されて
いない

の 5 段階評価

＜京（みやこ）の水ビジョン基本理念と 5 つの施策目標＞



施策目標Ⅰ 毎日安心して使うことができ、災害にも強い水道・下水道を目指します

1 蛇口を通じた安全・安心な水道水の供給

蛇口を通じて安全・安心な水道水を、安定して効率的に供給します。

主な取組

直結給水の拡大 251 件増加（目標 230 件）
京北地域水道及び大原簡易水道の再整備事業の実施

評価

B

2 異臭味問題解消のための高度浄水処理施設の整備

水道水の異臭味を解消し水質基準を遵守するために、高度浄水処理施設を段階的に整備します。

主な取組

蹴上浄水場粒状活性炭吸着池築造工事設計完了

評価

A

3 水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消

平成 20～29 年度の 10 年間で、道路部分の鉛製給水管を全て解消します。

主な取組

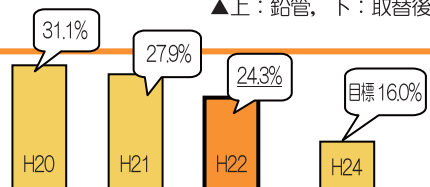
道路部分の鉛製給水管の単独取替え 12,124 件（目標 12,000 件）
補助配水管や配水管の布設替え等に関連した鉛製給水管の取替えの推進
5,495 件（目標 6,700 件）
鉛製給水管取替の助成 80 件（目標 200 件）



▲上：鉛管，下：取替後

道路部分の鉛製給水管の割合（％）

$$= \frac{\text{道路部分の鉛製給水管の使用件数}}{\text{給水件数}}$$



評価

B

4 雨に強く安心できる浸水対策の推進

10 年に一度の大雨に対する安全度を確保します。

主な取組

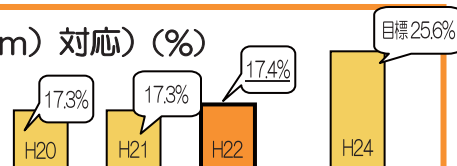
雨水幹線等の整備
浸水箇所の解消に向けた検討
雨水貯留施設設置の助成 156 件（目標 120 件）



▲雨水幹線工事

雨水整備率（10 年確率降雨（1 時間 62mm）対応）（％）

$$= \frac{\text{浸水対策済区域面積}}{\text{公共下水道事業認可区域面積}}$$



評価

B

5 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

地震等の災害に強い上下水道施設を整備するとともに、災害リスクを分散し、被災しても被害が少なく、早期に復旧が可能な水道・下水道を構築します。

主な取組

水道管路、下水道管路の耐震化工事の継続実施
浄水場、水環境保全センター等基幹施設の耐震化工事の継続実施



▲配水管耐震化工事

評価

B

6 災害・事故等危機時における迅速な対応

あらゆる危機においても迅速に対応できるよう、危機管理体制を強化します。

主な取組

応急給水訓練の継続的な実施、各浄水場における監視カメラの増設、改良工事完了

評価

A

施策目標Ⅱ 環境への負担の少ない水道・下水道を目指します

1 市内河川と下流域の水環境を守る下水の高度処理の推進

閉鎖性水域である大阪湾、瀬戸内海の富栄養化を防止するためには、窒素除去が急務であることから、窒素除去に重点をおいた下水の高度処理を、処理施設の更新時期に併せて段階的に推進します。

主な取組

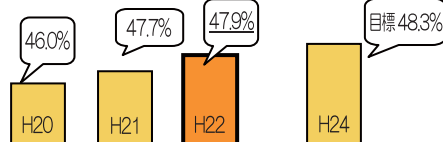
高度処理基本計画の見直し作業を実施中
高度処理施設の整備（鳥羽水環境保全センターB系、伏見水環境保全センター1期1/2施設）
水質目標値の見直し実施
未規制物質の定期検査12回実施



▲下水の高度処理により甦る清流

高度処理人口普及率（％）

$$= \frac{\text{高度処理実施区域内人口}}{\text{高度処理が必要な区域の人口}}$$



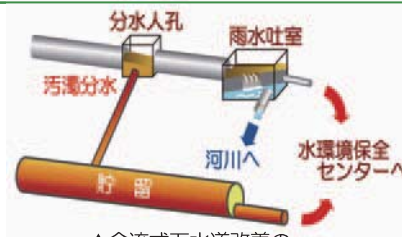
評価
B

2 雨の日も水環境を守る合流式下水道の改善

雨天時に合流式下水道から流出する未処理下水やゴミ等を削減する改善対策を、達成期限（平成35年度）を見据え、積極的に推進します。

主な取組

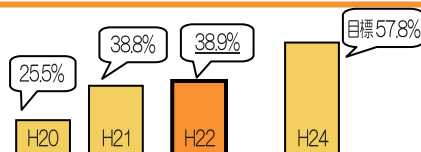
雨天時に下水を一時的に貯留する幹線等の整備
雨天時下水処理の改善検討



▲合流式下水道改善のための貯留幹線イメージ

合流式下水道改善率（％）

$$= \frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}}$$



評価
B

3 市民のくらしと水環境を守る下水道整備の拡大

計画区域内の未整備箇所や北部地域など必要な下水道整備を推進します。

主な取組

大原、静原、鞍馬、高雄地区での下水道整備の実施

評価
B

4 環境保全の取組の推進

環境マネジメントの継続的な取組により、省エネルギー対策、未利用エネルギーや資源の有効活用を一層図り、京都議定書誕生の地として、地球温暖化対策に積極的な役割を果たします。

主な取組

太陽光発電設備の継続運用
下水処理水や下水汚泥の有効利用の推進
上下水道事業一体の環境報告書の作成・公表



▲浄水場の太陽光発電設備

評価
B

上下水道事業環境報告書

上下水道事業を環境の視点から説明するとともに、環境保全に資する取組みのコストと効果にかかわる環境会計を市民の皆様に分かりやすくお伝えする上下水道事業一体の「環境報告書」を作成しています。

22年度の上下水道事業環境会計を本誌裏面に掲載いたしましたのでご参照ください。

※「環境報告書」の詳細については、上下水道局ホームページ又はお客さま窓口サービスコーナー・疏水記念館等で配布している冊子をご覧ください。



施策目標Ⅲ 将来にわたって使い続けられるよう水道・下水道の機能維持・向上に努めます

1 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

【水道】

山ノ内浄水場を廃止して、現状の4浄水場体制から3浄水場体制とすることにより、浄水場の施設規模を水需要に応じたものに適正化します。

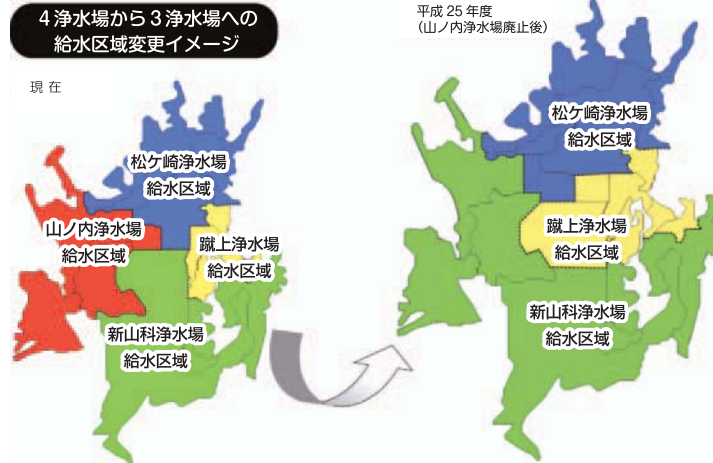
【下水道】

鳥羽処理区と吉祥院処理区の統合等により、施設規模の適正化を図りながら、水質規制強化や環境保全に効率的に対応する施設体系へ再編成します。

主な取組

山ノ内ポンプ場整備工事の継続実施

石田・伏見水環境保全センターから鳥羽水環境保全センターへの汚泥圧送施設整備の継続実施



評価
B

2 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

基幹施設の適正な維持管理を行うとともに、急増する経年施設に対し、老朽化や重要度等から総合的に優先度を判定し、計画的に改築更新を進めます。更新時には地球温暖化対策や施設機能の向上等を図ります。

主な取組

松ヶ崎浄水場送水ポンプ取替工事の継続実施

水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新工事の継続実施

評価
B

3 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新

計画的かつ効率的に改築更新を行い、非常時を含め一日たりとも休むことができない水道・下水道の機能を維持・向上させるとともに、漏水や道路陥没事故を防ぎます。

主な取組

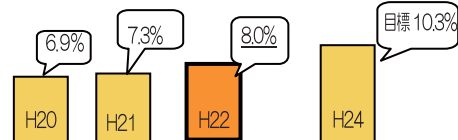
配水管の計画的な更新

下水管路施設の計画的な点検・改築更新

効率的な改築更新手法の検討

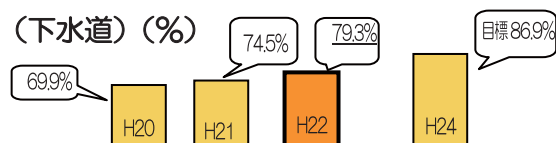
管路の耐震化率（水道）（％）

$$= \frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路総延長}}$$



経年管（戦前に布設した管路）対策率（下水道）（％）

$$= \frac{\text{経年管対策済管路の延長}}{\text{戦前に布設した管路の総延長}}$$



評価
B

施策目標Ⅳ 皆さまのご要望におこたえし、信頼される事業を展開します

1 お客さまが利用しやすい仕組みづくり

夜間・休日を含めた受付方法の充実など、より一層お客さまが利用しやすいサービスを推進します。あわせて、より高水準なサービスを提供するための仕組みづくりを進めます。

主な取組

電話・ファクシミリ・インターネットでの給水申込受付の継続実施
新料金システムの開発及び運用開始



▲お客さま窓口サービスコーナーの様子

評価
B

2 積極的に行動するサービスの充実

来所いただくのを待ちするのではなく、必要に応じてお客さまの所に訪問することで多様化・高度化するニーズに迅速かつ確に対応し、信頼される事業を展開します。

主な取組

休日における開閉栓業務の継続実施
災害用備蓄飲料水「疏水物語」の配達サービスの継続実施
貯水槽水道への戸別訪問 502 件（目標 400 件）

評価
A

3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

広報・広聴機能の充実を図るとともに、積極的な情報開示を進め、お客さまとの信頼関係の向上を図ります。

主な取組

地下鉄を活用した広報の実施
下水道事業開始 80 周年記念事業の実施
広報紙「京の水だより」の発行
一般公開（鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場）の開催
水に関する意識調査の実施



▲地下鉄を活用した広報

評価
A

4 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

サービス水準の維持・向上を図りつつ、できる限り現行の安価な上下水道料金水準を維持していくことを基本として、財政状況を踏まえ、可能な限り、お客さまのご要望や利用実態に合わせた満足度の高い施策の展開に努めます。

主な取組

民間分譲マンションの水道メーター各戸検針・各戸徴収サービス開始に向けた作業の実施
料金制度・料金体系について他都市の状況調査

評価
B

5 地域の皆さまや流域関係者とのパートナーシップの推進

地域の皆さまや上流・下流双方の流域関係者と共通の理念や目標を持ち、相互の情報交換、協働、連携を深めたパートナーシップによるさまざまな取組を進め、琵琶湖・淀川流域全体としての上下水道事業の充実と水質の維持・向上に努めます。

主な取組

雨水貯留施設設置の助成 156 件（目標 120 件）
下水道利用に関する啓発・指導
水路閣改修調査検討委員会の開催

評価
A

琵琶湖疏水記念館のご案内

●開館時間

3月1日～11月30日
午前9:00～午後5:00（入館は午後4:30まで）
12月1日～2月末日
午前9:00～午後4:30（入館は午後4:00まで）
※動物園からも入館できます。

●休館日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌平日）
年末年始（12月28日～1月3日）

入館
無料



施策目標Ⅴ 経営基盤を強化し、将来にわたり安定した経営を行います

1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

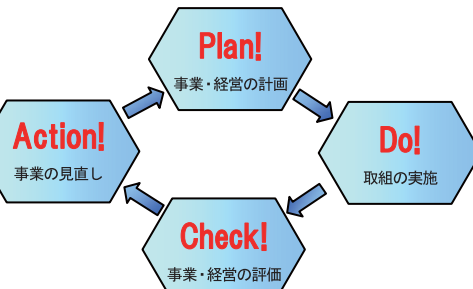
公営企業としての存立基盤を堅持しつつ、可能な限り民間活力の導入に努めることにより、事業規模に応じた職員数の適正化を図るとともに、経営分析や評価を活用した効果的な経営管理に努めるなど、民間的な経営手法を積極的に導入して、最大限の効率化に努めます。

主な取組

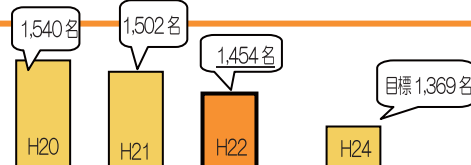
水道メーター点検業務の民間委託化の推進
経営評価審議委員会の運営、意見の公表

職員予算定数の削減（人） （水道事業及び公共下水道事業）

＝ 上下水道事業に従事する職員の定数



▲PDCA サイクルのイメージ図



評価
A

2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

水需要に応じた施設規模の適正化により、建設再投資額等を抑制するなど、市民の皆さまのライフラインを確実に守れるよう、財政の健全化を推進します。

主な取組

山ノ内ポンプ場整備工事の継続実施
企業債発行の抑制及び繰上償還の実施
ミスト装置設置による水道水のPR



▲祇園祭山鉦巡行時のミスト装置設置（市役所前広場）

評価
A

3 上下水道一体体制の効率的な事業運営

上下水道事業に共通する業務の共同化・集約化を図るとともに、両事業の会計の一体的な管理や、料金・財務の連結を推進し、一体的な経営を行うことにより、水道料金単価と下水道使用料単価を合わせて、大都市平均より安価な料金水準を維持します。

主な取組

技術監理室の設置
上下水道事業予定連結財務諸表の作成

評価
B

4 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

上下水道事業に求められるサービス精神と経営感覚を持つ企業職員を育成します。あわせて、技術の継承・発展を目指した総合的な技術力の向上を実現していくとともに、将来を担う人材を育成します。

主な取組

民間企業への派遣研修の実施
所属長マニフェストの策定・実践
技術研修実施計画に基づく技術研修の実施
西安市の水環境改善に向けた協力事業の実施



▲西安市研修員への技術講義

評価
B



災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」 を実費でお分けいたします。

京都市が誇る水道水を工場処理後、缶詰（アルミボトル）にしたもので、災害用備蓄飲料水として役立てていただくのはもちろん、普段の飲料水としても、冷やしていただきますと、より一層おいしく飲んでいただけます。

※配達はケース単位で京都市内（一部除く）に限ります。

金額

2,400円（税込み、1ケース24本）、
ケース単位でお分けします。

賞味期限

製造後、常温・未開封で5年間

購入方法

上下水道局お客さま窓口サービスコーナー又は市内9営業所へ電話、FAX又は来所していただきお求めください。また、ご自宅等までの配達※も承ります。（配達料は無料）

上下水道事業環境会計（平成 22 年度）

水道事業では、省エネ機器の導入による電力削減や水道メーターの再利用等の資源有効利用により、環境保全コストが 1.7 億円、環境保全効果が 4.1 億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は、2.4 億円の黒字となっています。

下水道事業では、下水処理過程における電力の削減や公害防止等により、環境保全コストは 19.6 億円、環境保全効果は 28.1 億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は 8.5 億円の黒字となっています。

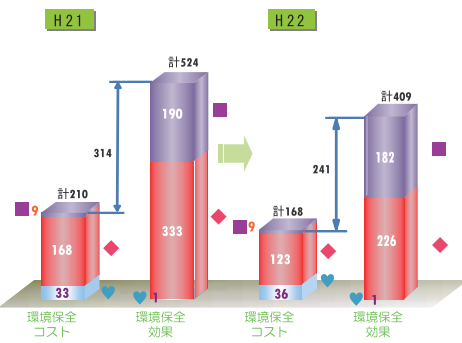
水道事業

環境会計（百万円）

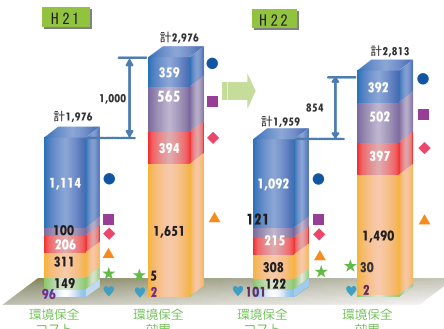
下水道事業

- 電力削減など
環境負荷の抑制
- ◆資源の有効利用
- ♥ヒートアイランド
対策他

（グラフと上記取組項目の色と
記号が対応しています。）



計算法（省令）改正に伴い、規格が変わり水道メーターの再利用が減少したことから資源の有効利用が減りました。



- 高度処理
- 電力削減など
環境負荷の抑制
- ◆資源の有効利用
- ▲処理過程における
公害防止
- ★事業場排水の規制
- ♥ヒートアイランド
対策他

（グラフと上記取組項目の色と
記号が対応しています。）

水道事業、
下水道事業
とも黒字だね！

※環境会計とは？

※環境保全コストとは？

※環境保全効果とは？

環境会計は、環境保全の取組を効率的・効果的に進めるため、取組にかかったコストと得られた効果を、可能な限り金額で表し説明する仕組みです。

環境保全の取組にかかる費用です。維持管理費と設置した施設の建設費（減価償却費）の合計です。

環境保全の取組による経済効果です。取組を実施する場合としない想定した場合の、環境汚染物質による被害量の差を金額換算したものです。

「京都市上下水道事業経営評価」（本冊）もご覧ください。

上下水道局では、「効率的かつ効果的な市政の実現を図る」こと、「市民の視点に立った市政の実現を図る」ことを目的として経営評価を実施し、評価結果について公表しています。

この冊子は、その概要版に当たるもので、より詳しい評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

●ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

上下水道事業経営評価

検索

市民の皆さまのご意見・ご提案をお聞かせください。

このたびは「京都市上下水道事業経営評価（概要版）」をご覧いただき誠にありがとうございました。
私たち上下水道局では、皆さまからの貴重なご意見・感想をもとに、今後ともより分かりやすい経営評価への改善やより良い事業運営につなげてまいりたいと考えています。

経営評価に関するご意見・ご提案は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)（経営評価のページ）の[経営評価についてのご意見・ご提案メール](#)まで

発行 京都市上下水道局 総務部 総務課

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町 12 番地

TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711